

危機管理防災執務体制の再編（案）について

1 趣 旨

近年の災害は、激甚化・頻発化する傾向にある中で、自助・共助・公助がそれぞれに担う役割を認識し、平時からの事前防災対策や被災後の迅速な応急活動など、相互連携体制の強化に向けた取組が重要となっている。特に、共助となる自主防災組織と、地域防災力の要となる消防団との平時からの連携が重要であり、地域防災力の強化に向けた施策を推進する上において、両組織の効果的な連携や統一的な施策の展開を図ることを目的として、危機管理防災業務と消防団業務の一元化に向けた体制を整備するため、消防団業務を消防部から危機管理防災課へ移管する。

2 組織改正（案）

(1) 事務所管の見直し

消防部が所管する「消防団事務」を令和7年度より危機管理防災課へ所管替え

3 体制見込み図（案）

【危機管理防災課に消防団担当を設置（新設）】

組織体制(案) 及び所掌事務	
現 行	改正後
○消防部消防総務課（ 消防団担当 ） ○危機管理防災課（危機管理防災担当）	○危機管理防災課 （危機管理防災担当、 消防団担当 ）
<p>【現行】</p>	<p>【改正後（案）】</p>
	○危機管理防災課 (1) 危機管理防災事務に関すること（現行） (2) 消防団関連事務に関すること（新設） ※団事務、施設管理、消防委員会等審議会事務など

上田市消防団員に対する準中型免許取得費補助金について（報告）

1 概要

上田市消防団の円滑な消防活動と団員の加入促進に資するため、上田市消防団員に対する準中型自動車免許等取得費補助金について、第1回消防委員会の協議結果を踏まえ、令和7年度施行を目指し事務を進めています。

2 令和6年度第1回消防委員会（7月31日に開催）で協議結果

- (1) 補助率は10/10、上限額についてはできる限り団員の自己負担は少なくすること
- (2) 補助を受けた後、5年以上は消防団活動をする事
- (3) 所属分団長が推薦し、消防団長が認めるものとする事
- (4) 導入時期については速やかに行うこと

※ 二輪車取得免許補助のご意見をいただいたが、消防団の意見を踏まえ検討を継続する。

3 内容

(1) 補助金対象者

- ア 消防車両を運転することを目的として、準中型免許、中型免許又は大型免許を取得しようとする者
- イ 免許取得後、5年以上上田市消防団に在職し、消防団活動をする事が見込まれる者
- ウ 所属する分団の分団長の承認を受けた団員
- エ 市税の滞納がない者

(2) 補助対象経費 準中型免許、中型免許又は大型免許の取得に要する経費

(3) 補助金の額 補助対象経費の合計額の10分の10以内の額で次に定める額を上限とする。

- ア 普通免許を保有している者が準中型免許以上の免許を取得 15万円
- イ 普通免許を保有していない者又は普通免許（オートマチック限定）を保有している者が、準中型免許以上の免許を取得 17万円

(4) 施行日 令和7年4月1日（予定）

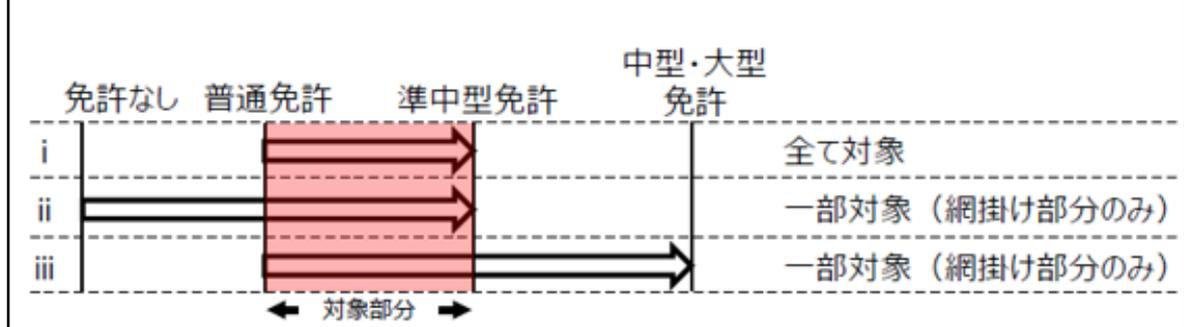
4 予算について

令和7年度予算要求額 109万円（根拠：17万円×2名、15万円×5名を想定）

5 その他

- (1) 上限額は、上田市内の指定教習所で普通免許保持者が準中型免許を取得する際の費用の平均額の90パーセントに設定
- (2) 対象者が、普通免許を有しない者であったり、中型免許や大型免許を取得する者であったりしても、普通免許保持者が準中型免許を取得したときに掛かる費用分を対象費用とする。

<補助対象イメージ>



令和6年度に実施した消防団員の確保策について

1 実施した主な入団促進活動

- (1) 学生団員の勧誘
- (2) 団員確保イベント
- (3) 女性団員の確保
- (4) 機能別団員との合同訓練
- (5) 消防団の力向上モデル事業
- (6) 消防団協力事業所制度の説明

2 活動内容

上田市消防団広報部会、人材育成を中心として活動した。

(1) 学生団員の勧誘

8月5日	学生団員勧誘に伴う学校訪問 上田女子短期大学・長野県工科短期大学校・上田高等学校（定時制）・上田千曲高等学校（定時制）・上田情報ビジネス専門学校・公立大学法人長野大学・長野救命医療専門学校を訪問し勧誘チラシを配布するとともに学生消防団活動認定証制度の説明を実施
10月20日	長野大学りんどう祭では、長野大学在学中の学生に、学生消防団活動認定証制度の説明をし、活動の魅力についても伝える。
2月8日	長野大学成果発表会
2月11日	学生団員活動報告会事前打ち合わせ会議
3月5日	学生団員活動報告会

(2) 団員確保イベント

8月4日	海野町防災フェスタ（in海野町七夕まつり会場）
8月25日	うえだ消防防災フェスタinアリオ上田
11月2～3日	活動紹介パネル展示（3日音楽隊定期演奏会）
1月9日～20日	アリオ上田ポスター展
2月26日～3月10日	イオンスタイル上田ポスター展
3月2日	うえだ消防防災フェスタinイオンスタイル上田

(3) 女性団員の確保

女性団員のすそ野を広げることを目的として、以下の主な活動を企画・運営し、その活動を SNS などで情報発信した。

5月5日	上田城跡公園で行われた「こどもまつり」に参加し、紙芝居など
6月23日	第66回ポンプ操法上小大会 第47回上小消防ラッパ吹奏大会会場でのバーチャル体験
10月13日	炊き出し訓練
10月20日	第2回城下消防まつり
12月15日	東京有明「そなエリア」研修視察
3月2日	上田南部消防署と合同防火訪問

(4) 機能別団員との合同訓練

与えられた資機材、人材、組織の連携・活用を目的とした訓練の実施

11月9日	武石地域自治センター班と武石東部分団の合同訓練実施
3月9日	真田地域自治センター班と長分団の合同訓練実施

(5) 消防団の力向上モデル事業

総務省消防庁が行う「消防団の力向上モデル事業」の採択を受け、プロポーザルにより決定した業者と消防団本部、消防総務課が中心となり、上田市消防団PR動画と動画関連グッズを制作した。

ア 制作動画

(ア) メイン動画

現役の消防団員による消防団活動やインタビューを交えた映像。住民に実際の消防団活動を知ってもらうとともに、消防団員が消防団員であることを誇りに思い、やりがいを感じてもらうことを目的とした動画。

(イ) ダンダンうえだし消防ダン

消防団員の任命年齢に満たない若年層にも、楽しく消防団の存在を知っていただくことを目的に上田市のゆるキャラも出演するオリジナルソングに合わせたオリジナルダンス動画

イ 動画投稿先 YouTube（ユーチューブ）

ウ 動画展開

（ア） SNS 広告

- ・配信先は、Meta（Facebook、Instagram）、YouTube
- ・広告内容は各動画のダイジェスト版で、YouTube 公式チャンネルへ誘導

（イ） デジタルサイネージによる放映

- ・市役所庁舎等で放映
- ・各種イベント会場に持ち込んで放映

（ウ） 市内の小学校・幼稚園・保育園等での活用

- ・子供向けオリジナルダンス動画を周知し、楽しみながら消防団を知ってもらう。
- ・令和7年上田市消防出初式で、オリジナルソングを行進曲として、幼年消防隊が行進

エ ノベルティグッズ

制作動画のイラストデザインを採用し、日常のあらゆる場面で「消防団」の存在を思い出してもらいたいと考えた。

（ア） オリジナル手ぬぐい

学校では、普段、掃除の時の頭巾代わりに使用。怪我による応急処置など防災グッズとしても活用可能

（イ） めも用心（ふせん）

学校やオフィスの必須文具であり、もらっても困らない。色々な場所に貼られることで拡散効果ある。

オ QRコード（YouTube 上田市消防団チャンネル）



(6) 消防団協力事業所制度の説明

上田地域振興局職員と消防総務課職員合同で、市内の従業員 300 人以上の事業所を対象に訪問し、消防団協力事業所表示制度の説明と消防団に対する理解や協力を依頼した。

令和6年度に実施した消防団員の負担軽減策について

1 実施した主な負担軽減策について

- (1) 上田大会（ポンプ操法・ラッパ吹奏）での対策
- (2) 出初式での対策
- (3) 訓練・会議等での対策

2 具体的な対策

(1) 上田大会（ポンプ操法・ラッパ吹奏）

- ア 大会開催日を昨年度同様に2週間早め、大会に向けた練習期間の短縮
- イ 昨年に引き続き、大会会場を丸子総合グラウンド・体育館とし、準備及び撤収作業の簡素化
- ウ 出場チーム（ポンプ操法・ラッパ吹奏共）の縮小
- エ 開閉会式の見直し
- オ 暑さ対策

(2) 出初式

- ア コンパクトな開催会場
- イ 式典等内容の見直し

(3) 訓練・会議等

- ア 春季、秋季規律訓練の参集範囲を限定
- イ 目的を明確にした訓練および会議時間の短縮
- ウ 「上田市防災シンポジウム2024」への参加

3 今後の負担軽減策について

消防団は、地域における消防防災のリーダーとして、平常時・非常時を問わず、地域に密着し、住民の安全と安心を守るという重要な役割を担っており、その任務を迅速・確実かつ安全に遂行するためには、訓練による技術錬磨、部隊の連携は必須であります。活動を単純に減らしていくことを負担軽減とせず、必要な活動、訓練の内容を精査しながら先進技術の研究や導入、風通しの良い組織づくりといった消防団の活性化につながる取組みを検討していく。

令和6年度 消防団車両等の更新整備事業報告

種 別	分団及び配備地域等	備 考
車 両	消防ポンプ自動車	第20分団(小泉) 26,950,000円(税込)
	小型動力ポンプ付 軽積載車	傍陽分団(曲尾) 6,930,000円(税込)
		武石西部分団(上武石) 6,930,000円(税込)
	積載車に積載の 小型動力ポンプ	第14分団(保野) 2,090,000円(税込)
		丸子第6分団(石井) 2,090,000円(税込)
装 備 品 ・ 資 機 材 等	団員用被服一式	法被・活動服・ヘルメットなど (活動に必要な被服装備) 4,676,100円(税込)
	消防ホース	全分団合計92本 (50mmホース27本、65mmホース65本) 2,955,700円(税込)
	火点標的	4本 522,720円(税込)
	角形組立水槽	2基 506,000円(税込)

令和7年度 消防団車両等の更新整備事業計画

種 別	分団及び配備地域等	備 考
車 両	消防ポンプ自動車	第14分団(中野) 使用期間22年経過
	小型動力ポンプ付 軽積載車	第7分団(川辺町) 使用期間23年経過
		第13分団(中吉田) 使用期間24年経過
		丸子第4分団(飯沼) 使用期間23年経過 普通積載 → 軽積載
	積載車に積載の 小型動力ポンプ	丸子第2分団(上和子) 使用期間12年経過
		丸子第4分団(茂沢) 使用期間13年経過
装 備 品 ・ 資 機 材 等	団員用被服一式	法被・活動服・ヘルメットなど (活動に必要な被服装備)
	消防ホース	全分団合計100本(予定)
	救命胴衣 (ライフジャケット)	全分団合計105着(予定)
	現場活動用ベスト	団本部・分団長57着(予定)

※ 車両の更新計画は使用期間20年を目安としている。
 ※ 小型ポンプの更新計画は使用期間10年を目安としている。

令和6年 上田市の火災概要

1 火災概要表

区 分	R6 (A)	R5 (B)	比 較 (A)-(B)	R6 地 域 別				
				上田地域	丸子地域	真田地域	武石地域	
火災件数 合計	28	43	-15	20	6	1	1	
火災種別	建 物	17	22	-5	12	4	0	1
	うち住宅	7	8	-1	5	2	0	0
	林 野	1	2	-1	1	0	0	0
	車 両	3	3	0	1	1	1	0
	その他	7	16	-9	6	1	0	0
死者数	2	3	-1	2	0	0	0	
うち自損	1	3	-2	1	0	0	0	
負傷者数	6	5	1	6	0	0	0	

2 出火原因上位

順位	出火原因	件数
1位	こんろ	4
2位	たばこ	各3
	たき火	
3位	ストーブ	各2
	電気機器	
	火入れ	

3 月別件数

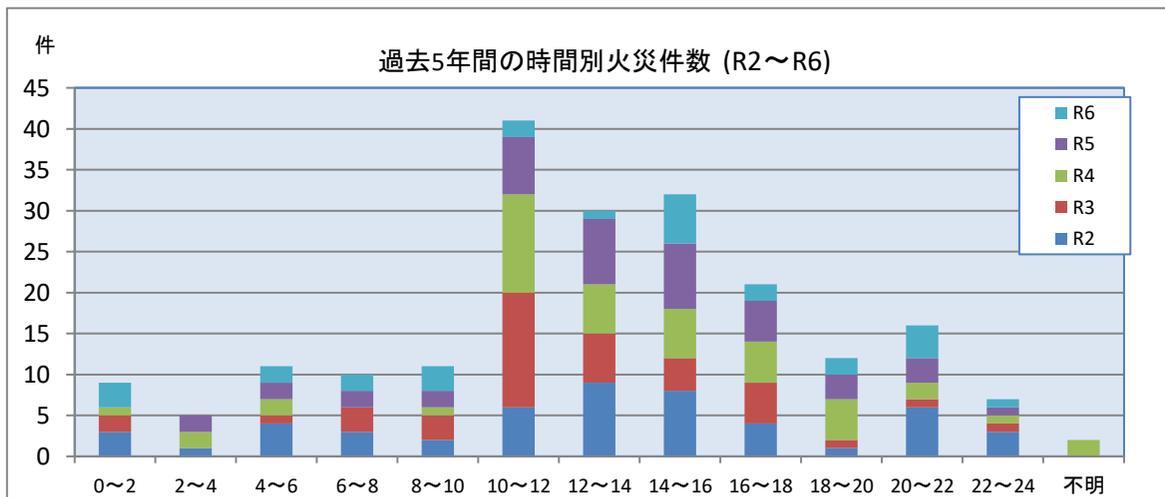
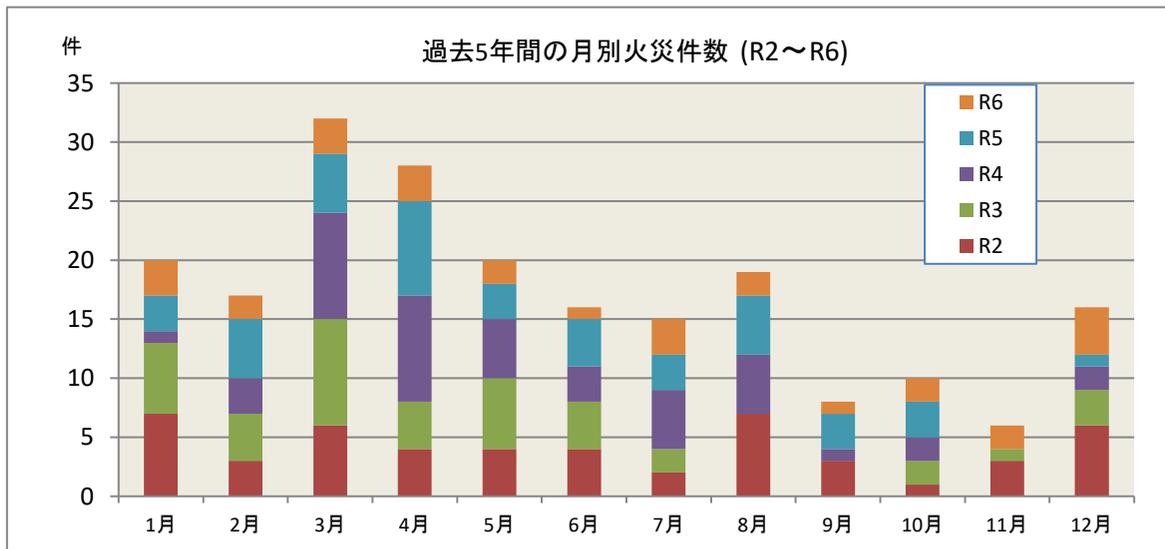
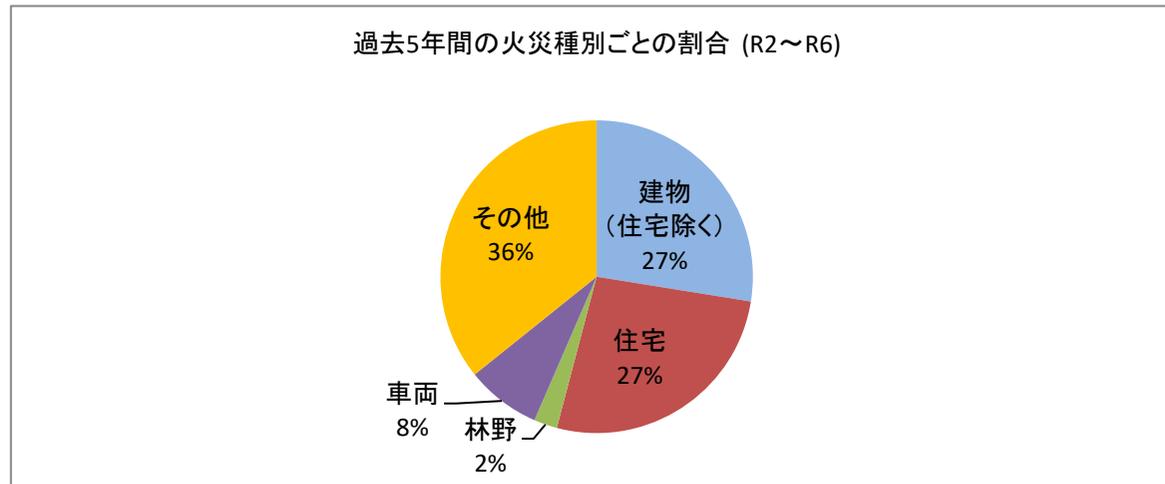
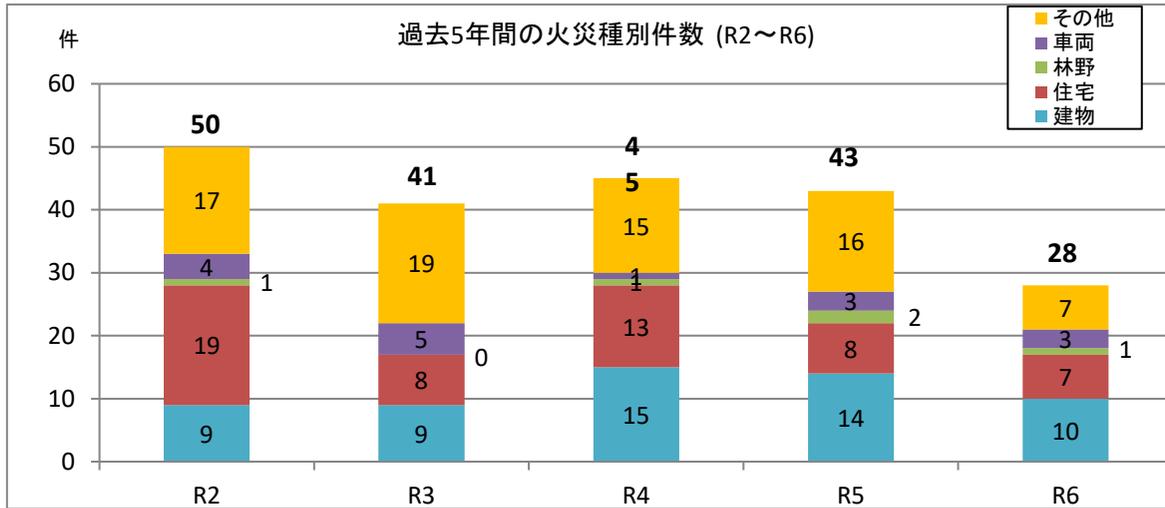
月別	件数
1月	3
2月	2
3月	3
4月	3
5月	2
6月	1
7月	3
8月	2
9月	1
10月	2
11月	2
12月	4
合計	28

4 時間帯別件数

時間帯別	件数
0～2	3
2～4	0
4～6	2
6～8	2
8～10	3
10～12	2
12～14	1
14～16	6
16～18	2
18～20	2
20～22	4
22～24	1
不明	0
合計	28

〔火災の概要〕

- 令和6年の火災件数は28件で、前年の43件と比べ15件の減少となりました。
火災種別では「建物火災」が17件（前年比5件減）で、うち「住宅火災」が7件（同1件減）であり、住宅火災が建物火災の41.2%を占めました。
その他は「林野火災」1件（同1件減）、「車両火災」3件（同増減なし）、「その他火災」が7件（同9件減）でした。
- 死者数は2人で、前年の3人から1人減少しました。（内訳：建物1人、その他1人）
また、負傷者数は6人で、前年の5人から1人の増加となりました。
（内訳：建物6人うち住宅6人）
- 出火原因では、1位は「こんろ」の4件でした。例年1位の「たき火」は3件で、前年と比較して5件減少しました。
- 月別火災件数では、12月の4件が最多であり、最少は6月と9月の1件でした。
3月から5月の火災多発期には8件の火災が発生しましたが、前年の同期間と比較すると8件減少しました。（この期間のたき火、火入れによる火災は6件減）
- 時間帯別件数では、10時から16時までの時間帯に多く発生しています。





令和6年 救急・救助業務の実施状況

1 救急出動について

令和6年中における広域全体の救急出動件数は、前年と比較して144件増加の11,850件で、搬送人員は169人増加の10,831人でした。これは、救急自動車が1日に平均約32回出動したことになり、管内人口のうち概ね18人に1人が医療機関に搬送されたこととなります。今後も高齢化の進展などにより救急出動件数の増加が見込まれています。

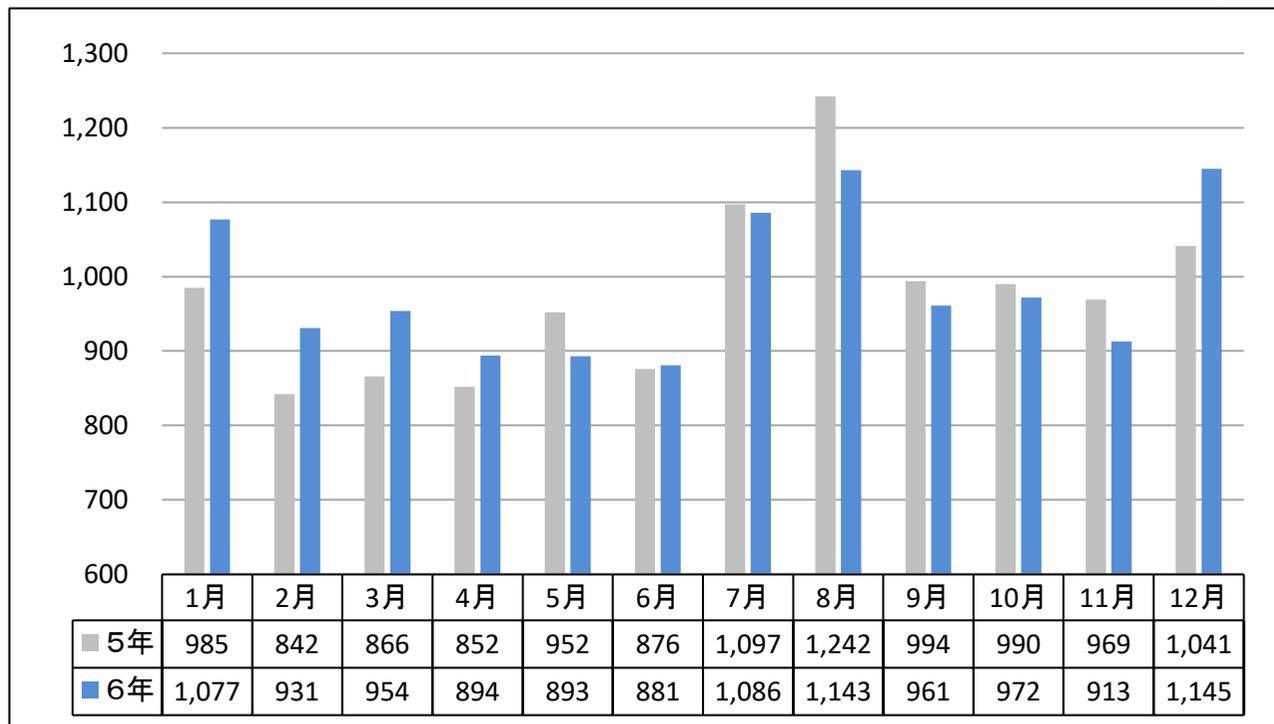
(1) 市町村別出動件数の前年との比較

(単位 出動件数：件 搬送人員：人)

	出動件数						搬送人員	1日平均 出動件数
	上田市	東御市	長和町	青木村	管轄外・高速道			
令和6年 出動割合	11,850 79.5%	1,600 13.5%	580 4.9%	236 2.0%	17 0.1%	10,831	32.4	
令和5年 出動割合	11,706 80.1%	1,544 13.2%	528 4.5%	249 2.1%	7 0.1%	10,662	32.1	
比較増減	144	39	56	▲13	10	169	0.3	
増減比	1.2%	0.4%	3.6%	▲5.2%	142.9%	1.6%	1.0%	

(2) 月別出動件数

(単位：件)



(3) 事故種別救急出動件数(上位5位)

(単位：件)

	急病	一般負傷	転院搬送	交通事故	運動競技	その他※
令和6年 出動割合	7,234 61.0%	1,816 15.3%	1,692 14.3%	549 4.6%	200 1.7%	359 3.0%
令和5年 出動割合	7,256 62.0%	1,761 15.0%	1,618 13.8%	526 4.5%	174 1.5%	371 3.2%
比較増減	▲22	55	74	23	26	▲12
増減比	▲0.3%	3.1%	4.6%	4.4%	14.9%	▲3.2%

※ その他とは、労働災害、自損行為、加害及び火災等です。
 端末処理(四捨五入)のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

2 救助出動について

令和6年中の広域全体の救助事案は、前年と比較して11事案減少の97事案で、出動件数は139件でした。

市町村別では上田市が13事案の減少、東御市が2事案の増加、長和町は2事案の減少、青木村は2事案の増加となりました。

事故種別で見ますと、機械事案が6件の減少、水難事案、ガス及び酸欠事案が3件の減少となりました。

(1) 市町村別救助事案数の前年との比較 (単位 事案件数、出動件数：件 救出人員：人)

	事案件数					出動件数	救出人員	
	上田市	東御市	長和町	青木村	管轄外			
令和6年	97	68	18	7	4	0	139	55
事案件数割合		70.1%	18.6%	7.2%	4.1%	0.0%		
令和5年	108	81	16	9	2	0	149	71
事案件数割合		75.0%	14.8%	8.3%	1.9%	0.0%		
比較増減	▲11	▲13	2	▲2	2	0	▲10	▲16

(2) 事故種別発生事案数 (単位：件)

	交通事故	火災	水難	風水害	機械	建物	ガス及び酸欠	その他※
令和6年	41	1	5	0	2	19	0	29
事案件数割合	42.3%	1.0%	5.2%	0.0%	2.1%	19.6%	0.0%	29.9%
令和5年	42	0	8	2	8	18	3	27
事案件数割合	38.9%	0.0%	7.4%	1.9%	7.4%	16.7%	2.8%	25.0%
比較増減	▲1	1	▲3	▲2	▲6	1	▲3	2

※ その他とは、転落、登山道での事故及び車内閉じ込め等です。

端末処理(四捨五入)のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

上田市塩川 神の倉工業団地工場火災について（報告）

- 1 覚知日時 令和6年10月29日（火） 21時14分
- 2 鎮火 令和6年10月31日（木） 15時20分 （鎮圧：10月31日 9時37分）
- 3 発生場所
- (1) 住所 上田市塩川 5363 番地 7
- (2) 名称 ホクト株式会社 上田きのこセンター（第一きのこセンター）
- (3) 構造等 3階建鉄骨造 延べ面積 20,180.21 m²
- 4 被害状況
- (1) 焼損面積 6,983.2 m²（半焼）
- (2) 負傷者 なし
- (3) 出火原因 調査中（総務省消防庁消防大学校 消防研究センターと共同で実施）

5 出動人員及び出動車両

日付	消防本部		消防団		消防相互応援隊		計	
	台数	人員	台数	人員	台数	人員	台数	人員
10月29日	19台	54人	33台	92人			52台	146人
10月30日	25台	72人	29台	173人	5台	18人	59台	263人
10月31日	19台	38人	9台	94人			28台	132人
合計	63台	164人	71台	359人	5台	18人	139台	541人

6 活動概要

日付	活動概要
10月29日(火)	・屋外から、はしご車を使用した梯上放水による消火活動 ・消火用水確保のため、水槽車によるピストン輸送等
10月30日(水)	・重機を使用した開口部の設定 ・屋内進入による泡消火薬剤を使用した消火活動 【応援要請】 ①長野県消防相互応援隊（長野県消防相互応援協定に基づく要請） ・佐久広域連合消防本部 3隊10人（化学車、タンク車、支援車） ・千曲坂城消防本部 2隊8人（化学車、タンク車） ②上小生コン事業協同組合（災害時における応援協力に関する協定に基づく要請） ・ミキサー車18台 運搬数81回 消火用水445tを搬送
10月31日(木)	・残火処理



建物北側から撮影



建物北側から撮影（はしご車による梯上放水）



西側上空から撮影



北側上空から撮影



長野県消防相互応援部隊



上小生コン事業協同組合のミキサー車による防火水槽への給水作業

上田市武石上本入 林野火災について

1 発生日時等

- (1) 発生 令和7年2月28日 12時00分頃
- (2) 覚知 令和7年2月28日 12時14分（通報者：近隣住民 内容：山が燃えている）
- (3) 鎮圧 令和7年3月 2日 11時20分
- (4) 鎮火 令和7年3月 3日 10時45分

2 発生場所 上田市武石上本入 林道熊沢線付近

3 被害状況

- (1) 焼損面積 約100ha（調査中）
- (2) 負傷者 1名 78歳・男 熱傷（中等症）
- (3) 出火原因 調査中

4 出動人員及び出動車両（延べ台数175台 延べ人員848人）

日付	消防本部		消防団		消防相互 応援隊		防災 へり	自衛隊 へり	警察	計 (へり除く)	
	台数	人員	台数	人員	台数	人員	機	機	人員	台数	人員
2/28	22	73	28	165			2		23	50	261
3/1	25	83	30	173	4	16	3	4	14	59	286
3/2	17	64	40	198			1	4	8	57	270
3/3	4	11	5	18					2	9	31
合計	68	231	103	554	4	16	6	8	47	175	848

5 各機関の対応状況

日付	主な対応状況
2月28日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ○消防本部及び消防団 <ul style="list-style-type: none"> ・現場指揮本部による指揮・活動統制、消火及び救急・救助活動 ・夜間警戒(住宅への延焼防止のための放水活動及び警戒 翌朝6:00時まで) ・長野県消防相互応援隊要請(23:00) ○防災航空隊(富山県及び岐阜県)：へり消火活動(9回/4,500ℓ) ○上田市：災害対策本部設置(16:15)県へ自衛隊要請、自主避難所開設 ○長野県：警戒・対策本部設置 長野県知事自衛隊派遣要請決定(17:00) ○総務省消防庁：災害対策室設置(第一次応急体制) ○警察：周辺警戒等(3/3まで継続、夜間含む)
3月1日(土)	<ul style="list-style-type: none"> ○消防本部及び消防団 <ul style="list-style-type: none"> ・活動統制及び消火活動(尾根にホースを延長し、放水活動実施) ・夜間警戒(活動終了から翌朝6:00まで) ○長野県消防相互応援隊 <ul style="list-style-type: none"> ・長野市：指揮隊1、消火隊1/千曲坂城：消火隊1/佐久広域：消火隊1 ・林野火災付近建物への延焼警戒及び東御市への火災出動(結果：誤報) ○防災航空隊(富山県、岐阜県及び静岡県)：へり消火活動(25回/11,350ℓ) ○自衛隊：へり消火活動(57回/118,500ℓ) ○上田市：現地調整所提供(旧権現保育園 3/3日まで炊き出し等の協力)
3月2日(日)	<ul style="list-style-type: none"> ○消防本部及び消防団 <ul style="list-style-type: none"> ・活動統制及び消火活動(尾根にホースを延長し放水活動実施) ・夜間警戒(活動終了から翌朝6:00まで) ○防災航空隊(群馬県)：へり消火活動(5回/2,700ℓ) ○自衛隊へり：へり消火活動(17回/40,000ℓ)
3月3日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ○消防本部及び消防団 現場警戒及び鎮火判断のため入山

延焼状況図面



富山県防災ヘリでの上空写真 (R7.2.28 15:12 現在)

